

道路愛護デー總評

鈴木正助

國民精神總動員の一項目として去る五月三日を期して縣及宮城縣道路保護協會聯合主催の下、第二回道路愛護デーを実施せるが、客年の當日は小雨なりしことに想ひを起し前日來何よりも先づ天候を氣遣ひしが當日は杞憂一掃、天候快晴にして實施には絶好の日和とて氣勢大に揚る。

抑々事變下に於ける道路愛護デーは國民の勤勞奉仕として誠に相應しく而も縣下一般の之れに對する關心は豫期以上熱烈なるものあり其の意氣は既に勞力不足を克服し前回にも勝る實績を擧ぐるに至つたことは總評を試むるに當り第一特筆せざる可からざる所とす。

今回實施の道路愛護デー成績を總括するに道路別作業延長は次の如き結果を得たり。

國道	一三〇・〇八四*
府縣道	一、七二八・九三一
市町村道	四、〇二八・六七一
計	五、八八七・六八一

即ち、今回の道路愛護デーは以上の路線延長に涉りて施行せられたるものにして尙右の外、不認定路線たる耕作道其他林道の如きに對して愛護作業を施したるもの六二、三六三米を有す。今以上の内不認定路線を控除したるものを現在の認定路線公簿延長に比するときは次の結果となる。

國道	一七六・〇〇〇*	愛護作業延長	百分比
府縣道	二、三〇〇・〇〇〇	一三〇・〇八四*	七四%
市町村道	二、三〇〇・〇〇〇	一、七二八・九三一	七五

市町村道 一〇、四一一・〇〇〇 四、〇二八・六七一 三九
計 一四、六九一・〇〇〇 五、八八七・六八六 四〇

之れを以て觀れば大體、國、府縣道は七割五分、市町村道は四割、計亦四割に止り、何れも全延長に達せざるは遺憾なるも之を仔細に觀察するときは必ずしも故なしとせず、蓋し道路愛護作業を爲すに當りては期せずして交通繁多にして常に惡路に悩む路線に主力を注ぎ其の交通量の閑疎なる路線或は鋪裝道の如き一般民人として手の施し様ななきものに對しては第一義的に考へられざるは已むを得ざる所にして、又道路愛護デー窮極の趣旨も結局は其處に落着くものと見らるゝを以て必らずしも右計數のみを以て其の是否を批判するには困難なるものあり。

國道の鋪裝延長は六十八軒に達し全延長の三九%を占む而て右等は單に清掃作業にて足るべきに依り是等事情を考慮に容るゝときは鋪裝未施行の全延長は全部に涉り愛護作業を施行せられたるものと觀ることを得べし又府縣道に在りては今日未だ車馬を通せざる所謂未改修路線延長四百三

十一軒を有する狀況に付況んや市町村道に於ては尙且然りとすべし故に是等は改修後に非ざれば假りに維持修繕の爲め勞作を爲すと云ふも殆んど其の効果を擧ぐることに困難なるを以て是等は愛護デーに於て除外せらるるは寧ろ當然と云はざるを得ず。

公簿路線延長に比し國府縣道の七割、市町村道の四割に當ると云ふも上述の理由に依れば今回の道路愛護デー作業延長は百%に達したるものと見ざる可らず而も右は單に作業延長に就ての觀察に止る。尙之れと關聯を持つ當日の出勤人員に就て之を觀るに、總出勤人員は十八萬三千四百三十八人を示し前回の出勤人員十五萬五千人にも勝る好成绩を示したり。

我宮城縣に於ける世帯數は十九萬九千八百六十二世帯に付之れに對し就勞人員の百分比を求むるに八九・七%即ち總世帯の約九割に當る。之を以て觀るも當日の道路愛護デー熱が如何に高調したか窺知するに足るべく道路作業延長の解説に於て例へ其の延長が全延長に及ばざるも成績良

好百分の効果を擧げたりと云へしを立證して餘りありと云ふべし。尙道路愛護作業振の其の成績の良否は之を専門的批判も加味せねばならぬことは勿論なるを以て少しく夫等の點に就て觀察を下すこととなすべし。

道路愛護實施に當りては縣に於て計畫を樹て右計畫に基き先づ、各土木事務所長を招集し指示協議を行ふて陣容を整ひ、亞いで各市町村長、各官廳、各種學校等に對し通牒若は依頼文を發し、趣旨の徹底を圖り又各土木事務所に市町村土木主任を招集し指示協議を爲して萬全を期し市町村に於ては各區長並に指導員の協議會を開催し他面あらゆる機會を利用し趣旨の宣傳に努め實施上遺憾なきを期したるに依り趣旨は充分に徹底し之れに依りて一般の共鳴を得たる事を信じて疑はざる所とす而して其の作業に就ても縣民一般は前回の體驗と平素の訓練と相俟つて全然無經驗者とも覺へざるに依り此の點よりして或る程度の信頼を置くことを得べし然し例へ體驗あり訓練を経たりと雖、中には萬點を獲得し得ざるものあるは固より言を俟たず沉んや各町

村仔細に觀察するに於てをや。

道路愛護デー當日は縣及び土木事務所共各班の指導班を編成し指導に當らしめたるが右指導班員の復命に依るときは中には就勞人員に於ては萬點に價するものあるも其の作業狀況を觀るに指導訓練宜しきを得ざる爲出動員は右往左往するのみにして作業能率を擧げ得ざりしものもありし又路面の穴地めに雜草を填充せるが如き劣等作業を爲せるもの一、二見受けたりとあるも總體に於て路面の修理、側溝の浚渫、刈拂清掃、水切、材料蒐集の各狀況概ね良好にして全く當日の愛護作業に依り縣下の各路線中凡そ自動車の通する路線には小穴一つ見られざる迄に愛護作業を施されたる等専門的立場より觀るも當日の愛護作業の偉大な效果あつたことを雄辯に物語つて居り即ち上述に於ける計數は此の結果を反映せざるものに外ならずして誠に快心に堪へざるものあり。而して今回各市町村に於て實施せる愛護作業の就業を時間別に觀るは興味あることにして又結果つける上に於ても有力なる資料となるべきに依り左に之を示さ

ん。

作業時間	就業人員	概算金額	百分比例
一時間	九、四二五	九四三	五・一三
二時間	一、三八七	二、二七七	六・二一
三時間	二二、九二三	六、八七七	一一・五〇
四時間	三一、五三九	一一、六一六	一七・一九
五時間	二九、一七三	一四、五八七	一五・九〇
六時間	一八、七八〇	一一、二六八	一〇・二四
七時間	一〇、四四八	七、三一四	五・七〇
八時間	三四、八六〇	二七、八八九	一九・〇〇
九時間	七、八三八	七、〇五四	四・二七
十時間	四、九八七	四、九八七	二・七二
十一時間	一、〇三八	一、一四二	〇・五六
十二時間	一、〇四〇	一、二四八	〇・五七
計	一八三、四三八	九八、二〇二	一〇〇・〇〇

前掲計數表は就業時間は一時間を最短とし最長十二時間として區分製表せるものなるが之を以て觀れば當日十時間乃至十二時間に互りて作業を續けたるもの三・八五%を占む、其の分量は四%弱とするも時間の程度に察し當日如何

に熱心に従事せるかゞ容易に知ることを得べし又八時間就業の一九%を占め居るもの亦十時間乃至十二時間のものと相俟つて本表に於ける一異色たるを失はず。

今回の道路愛護作業時間の最も平均せられたる階級は三時間乃至六時間にして此の四階級に於て五四・八三%を占む即ち今回の道路愛護作業を就業時間別分類により觀るときは其の半數強が三時間乃至六時間のものに當り七時間以上十二時間三二・八二以上の者の計八八・六五となり一時間及二時間作業のもの一一・三四にして全體の一割強に當る道路愛護作業時間として一、二時間程度の時間を以てしては到底實績を擧げ得ざること就ては多言を要せざる所なるべくも此點に顧み例へ少數なりと雖、如上の比例の現はれたるは遺憾とするも大局には大なる影響なし大局は依然として好成績を占め居るものと見ざる可らず兎もあれ縣民は今回の愛護デーに於ては十八萬三千四百三十八人と云ふ多數出勤し以上の如き時間別に依りて作業を施さる。勿論中には老若加はり小學校兒童群の参加もありて一樣なら

ざるも是等人々の尊い勞力奉仕は飽迄も精神的にして差別を附すべきものに非ざるは勿論之を有形的に評價すべきものに非ざること亦勿論なるも只單に勞力奉仕の結果を效果一〇〇%なりと結論付けることは聊か物足らざる觀あるに依り禮を失する嫌あれど試みに如上の出勤人員を金額に換算するときは總額九八、二〇二圓の計數現はるゝに至る而して其の内譯は三時間以上六時間以下四五、三四八圓七時間以上十二時間迄四九、六三四圓にして一時間及二時間のものに僅に三、二二〇圓に過ぎず。

勞力奉仕は僅に一日に止ると雖、總出勤人員十八萬三千を超へ其の換算金額約十萬圓に垂んとす。尙此の外各町村に於て提供せる砂利、砂其の他の諸材料代一萬三千餘圓あり之を加ふるときは計金十一萬餘圓に達す此の偉大なる生産的勞力奉仕に見るも今回の道路愛護作業の效果一〇〇%なるを裏書するものに非ずして何ぞや我宮城縣の縣民性の眞價は此の道路愛護デーに於ても遺憾なく發揮せるを見るべし但ぞ強いて云はゞ全體に於ける成績は以上の通にして

申分なき成績を擧げ得たるも土木事務所管内各市町村の世帯に對する就勞百分比階級別表に觀るときは左表の通りにして之れに依りて觀れば五十人以上の階級七五、五十人未満の階級一七計九二(四五%)を有する點に注視せざるを得ず、斯く少數階級が比較的多數を占むるに不拘全管比例か八九%を占むる所以のものは畢竟多數を占むる階級の數多き結果に外ならざるへし若し以上の少數二階級に屬する市町村に於て總動員の實を擧げ得たりしならんには錦上更に花を添へたるならんことを確信す此の一事總評をして若干銓を鈍らしめたる點とす。

縣の總括的成績は大體如上の記述に止め次に各土木事務所別及各市町村別の成績を批判し總評を終らんとす。

本縣管内には土木事務所は大河原、仙臺、鹽釜、古川、築館、石巻、佐沼の七ヶ所に設置す。

以下土木事務所を單位として觀たる成績を記述せんとするものなるが此の成績の觀方には幾多の方法あるべくも茲に於ては道路愛護デーのパロメーターとも目すべき世帯に

對する出勤人員の比例に一顧を與ふることゝすべし。

今右の見地に立つて之を觀れば、

築館	鹽釜	佐沼	大河原	古川	石卷	仙臺	全管
一三三・一	一二二・九	一一八・六	一〇四・六	一〇一・五	七六・一（九七・四）	四七・一（一七三・三）	八九・七
順位 一	二	三	四	五	六	七	

の結果を示し築館の一三三・一％第一位を占め仙臺の四七・

一％最低位を示す。石卷の七六・一％も仙臺と相俟つて此

の計數表の示す所に依れば一〇〇％を割き低位に在り然れ

ども仙臺、石卷は共に都市を擁し居り隨つて都市の成績如

何は包擁都市に左右せらるゝ所多きものと見ざる可らず現

に仙臺、石卷に於て包擁都市の不成績が如上の不成績に陥

らしめたるを看取せらるゝものあり即ち右兩事務所共各包

擁都市の成績を控除するときは仙臺は一七三・三％となり

斷然第一位を占むるに至り又石卷は九七・四％となり約二

〇％の上昇を觀たるも仙臺の躍進によりて遂に最低位に下

りしは惜しむべし但し路線の作業延長一人當りの比較に於

ては最高石卷の三七米九四〇最低鹽釜二七米四五七總平均

三二米一七を示す所なるが其の作業延長の多き必らしも可

とは認め難きも如上の比較に於て最高位を示す點にて若干

慰むるを得べき乎。

最後に市町村別成績につき一言を費すべし。

茲に於ては全般を個々に羅列し批判を加ふることは餘り

に繁雜となるが故に努めて其の繁を避くる爲、技術を加へ

可成綜合的批判を加へんとす。

土木事務所別世帯に對する就業者百分比例を等級に依り

分ちたる市町村數の統計表を作成するに別表の通にして該

表に依り之を觀るに世帯百に對し就業者五十人未満及五十

人以上の程度に止る町村は各事務所管内共相當數あり今、

右五十人未満及五十人以上を合したる町村數を町村總數に

對する比を見るに築館土木事務所管内の如く町村總數二七に對し七の僅少數を示すものあるも他は悉く市町村數の約半數を示す尙市町村總數二〇二に對し右二階級町村數は九二にして之が百分比四五・五%を示したり。

想ふに是等町村は今回の愛護デーに於ける就勞率の極めて低位に在るものにして換言すれば道路愛護デーに於て百の世帯中五十世帯若は其の以下に限り出勤し他は出勤せずと云ふ結果を表現するものにして甚だ遺憾なる現象と云はざるを得ず。細別的觀察批判に於ては總括的批判と矛盾を來すことゝなるも右は一世帯に於て二人若は三人と云ふが如く就勞せる町村を有するに依り前記の不結果を覆ふものに外ならずして事實以上の町村は不成績を示せるものと云はざるを得ず若し如上の町村に於て百世帯に對し少くも一〇〇%に達せしむるを得るに於ては總出勤人員は二十四、五萬人の數に達し得たるものと察せられ遺憾に堪へず是等に對しては第三回實施の際成績の向上を計らしめざる可らざるを痛感せしむるものあり。

尙仙臺、石巻二都市の如きは世帯百に對する就勞人員の比例は前者は一九・九%後者は二・六%の如き極めて劣勢なる結果を示し其の爲所管土木事務所の成績を低下せしむるの因を爲せるは土木事務所を單位とせる成績の項に於て記述せる所なるが如斯成績を觀るときは都會に於ては道路愛護デーに關しては我不關焉を極めたるかの如き觀を呈し兩市の爲惜しまざるを得ざる所とす右兩市に對しても次回は善處を要するものあり。

以上は成績の香しからざるものゝみの狀況なるが之れに反し成績良好と認めらるゝ町村の狀況を觀るに世帯百に對し就勞人員百人以上の町村五七、同百五十人以上二九、同二百人以上一五、同二百五十人以上六、同三百人以上三を示す等は前にも説述せるが如く其の出勤人員の多き必らずしも成績良好とは斷じ難きものあるは勿論なれども其の町村の熱の程度は出勤人員に反映する點より見て以上の如く就勞人員率の高き町村は無條件を以て成績良好町村として數へたし而て此の見地より之を觀れば世帯百に對し就勞

人員三百人以上は大河原管内一鹽釜管内一、佐沼管内一とす大河原管内は小齋村、鹽釜管内は富谷村佐沼管内は米谷町にして何れも日頃道路愛護心の旺盛なる地方とす。此の地方は當日一家擧げて之れに従事せる觀あり。

同二百五十人以上の階級に於ては大河原管内一、仙臺管内一、古川管内二、石巻管内一、佐沼管内一あり。大河原の一は金瀬村、仙臺の一は大澤村、古川の二は西大崎村、籠嶽村、石巻の一は大谷地村、佐沼の一は階上村とす。

仙臺の大澤、佐沼の階上二村は何れも道路愛護優勝旗獲得村にして籠嶽村は優勝旗は獲得せざるも道路愛護事業々續に就ては大に見るべきものある村とす。

同二百人以上の階級に於ては各土木事務所管内夫々該當町村あり總數前掲の如く一五なるが今是等町村を擧ぐれば大河原管内越河、圓田、仙臺管内愛島、鹽釜管内根白石、七ヶ濱、落合、野蒜、古川管内一栗南郷、石巻管内大鹽、佐沼管内歌津、大谷、唐桑の各村とす右の内には多少觀察と實際とが一致せざるものあるも大體に於て以上數へ來り

たる各村は常に道路愛護心に燃へつゝある地方にして茲に其の成績の現はるゝ偶然にあらざるを思はしむるものあり。

終りに臨み道路愛護デー當日來縣管内の實況を視察せられ激勵を興へられたる内務省道路課東北主任和泉賢治氏に深謝の意を表し筆を擱く。

現住戸數に對する就勞者百分比の等級に分ちたる市町村數

大河原	一	一	二	四	二	二	四	三
仙臺	一	一	四	三	三	二	九	三
鹽釜	一	一	四	三	三	二	一	三
古川	一	二	二	二	二	一	三	三
築館	一	一	二	九	七	一	七	二
石巻	一	一	一	二	一	二	七	二
佐沼	一	一	三	五	八	三	二	三
計	三	六	一五	二九	三九	五七	一七	二〇一

作業時間別に分ちたる就業人員數及其の
概算金額調

時間別	就業人員	概算金額	摘要
一時間	九、四二五	九四三	五・一三
二時間	一一、三八七	二、二七七	六・二一
三時間	二二、九二二	六、八七七	一二・五〇
四時間	三一、五三九	一二、六一六	一七・一九
五時間	二九、一七三	一四、五八七	一五・九〇
六時間	一八、七八〇	一一、二六八	一〇・二四
七時間	一〇、四四八	七、三一四	五・七〇
八時間	三四、八六〇	二七、八八九	一九・〇〇
九時間	七、八三八	七、〇五四	四・二七
十時間	四、九八七	四、九八七	二・七二
十一時間	一、〇三八	一、一四二	〇・五六
十二時間	一、〇四〇	一、二四八	〇・五七
計	一八三、四三八	九八、二〇二	一〇〇・〇〇

作業時間に依り區分したる市町村數調

大河原	十二時	十一時	十時	九時	八時	七時	六時	五時	四時	三時	二時	一時	計
	1	1	4	3	4	6	5	8	2	2	1	3	

仙臺	1	1	1	4	3	4	3	2	1	3	
鹽釜	1	1	4	2	4	2	3	1	3		
古川	1	2	1	7	3	6	3	4	6	1	
築館	1	1	4	2	1	3	1	0	3	1	
石巻	1	1	1	5	3	3	5	2	6	1	
佐沼	1	1	2	1	10	2	3	5	3	1	
計	2	1	7	2	27	26	26	23	26	21	21

秋季漫吟(一)

野狐禪

腿に強き腸の照り映えや秋の風
 しよびかるる畑盗人や鳴子繩
 同じ唄に飽きもせて引く鳴子かな
 コスモスの丈け揺れつゝも垣暗るゝ
 コスモスの這ひ伏してあり雨の背戸
 秋の夜や茶を煮る僧の狸めき
 石投げて逃ぐる狸や霧まぎれ
 徳利提げて新酒の門を敲きけり
 白藏主と行き逢ふ小僧芒原
 前號正誤
 ゆら〜と夕顔ほどけ月の前
 咲き残る白百日紅秋近し